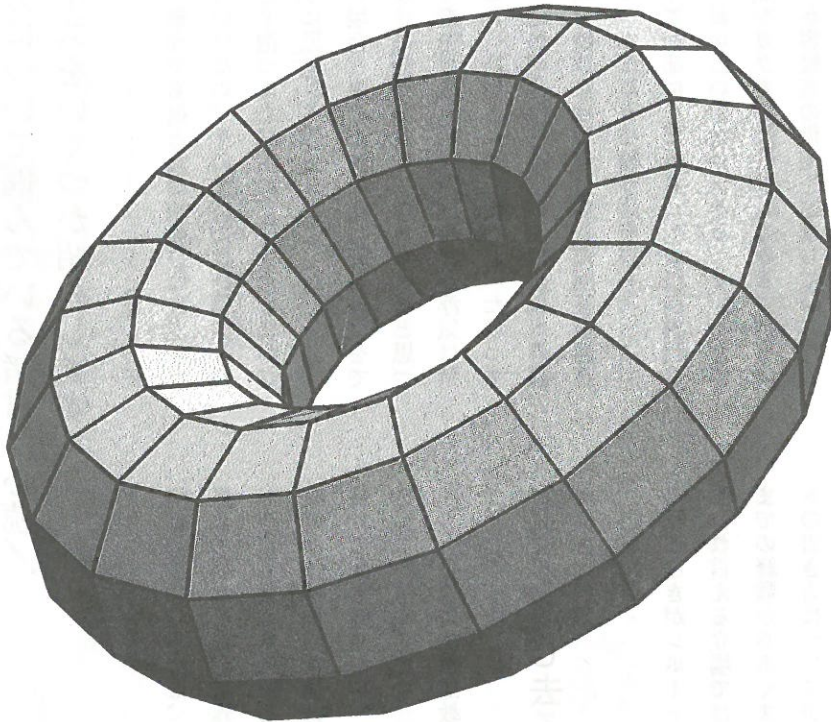


I S S N 0289-9302

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

# ΚΟΣΜΟΣ

特集 論文秘必勝法



『時は巡る』

熱・物質移動研究室 画（工学部機械工学科）

# 特集

## レポート・論文 必勝法

レポート・論文の書き方について悩んでいる諸君は必読！  
先生や先輩方のアドバイスをいくつか紹介します。

### 論文とつきあう

神田 千里

「論文の書き方」の類の本がよく出版され、よく売れている。多くの人が論文を書くにあたり如何に苦労しているかがわかるというもので、この手の本を書店の書棚に見つけると思わず手を伸ばしたくなる衝動に關しては私も人後におちないつもりである。だが滅多に買わないのは読んでも論文作成のための妙手は分からないからである。

誰もがうすうす分かっていのように本当に必要なのは本などに書いてない独自の構想である。そしてこれは人から教わることでできるシロモノではない、凡人が天才へと飛翔する手品なんてありえないように。現実はいかにミもフタもない。

しかし凡人も論文は書かなくてはいけない

いし、無理でも何とか構想をひねり出さなくては行けない。そのためには結局他人の論文と辛抱づよく誠実に？付き合うほかならぬように思われる。

私の場合、書くことと決めた分野の論文をできるだけためくってみて、中からこれと思つたもの一つを選ぶ。一旦選んだら浮気は禁物、これ一筋にとにかく細かく、ためつすがめつ読む。一行一行、しゃべらない著者に疑問を投げかけ、自分なりの回答を想定し、といったことを繰り返す。

そして細部にこだわる。この点は説明がない、おかしい、ひっかかる、といった些細な点をガタガタ問題にしてみる。刑事コロンボが容疑者の供述を追求していく時のような、あの執拗さと辛抱づよさが是非ほしい。誠実に、かつ執拗に。バカのひとつ覚えだが私の場合これしかない。そして方

法が月並なわりには、論文への取組み方が見えてくるのが意外に多いものである。

一旦みえてくればしめたもので最大の突破口は開かれた。場合によっては大論文が書けるかも知れない、むしろ才能と運次第で。

(文学部教授・かんだちさと)

### 不安を消し去るレポート

大原 規

私ごときがレポートの書き方についてあれこれ言える立場ではありませんが、これまでの経験からあくまで主観的に、レポートの書き方について書かせていただきます。課題レポートの場合、大半が授業で講義した事について書く事になると思います。

大学の講義は、先生から学生への一方通



行的な授業であり、学生がどの程度自分の教えている事を聞いてくれているのか不安に感じていると思います。先生はそんな不安を消し去ってくれるレポートを期待しているのではないでしょうか(多分)。

それでは「不安を消し去るレポート」とは具体的にどんな事を書けばよいのか。

一番大事な事は、課題についての自分の考えを書く事です。先生は、少々雑でも個性溢れるレポートを期待していると思います。しかし、ここで勘違いしてほしくないのは、ただ主観的に何の理由も無しに書けばよいという事ではありません。なぜ自分はそう思うのか、根拠が必要です。その根拠について述べる時に参考になるのは、やはり講義中の先生の言葉でしょう。但しそれでは、講義に出ていない若干の学生はお困りと思いますので、そういう時は、教科書・参考書・図書館の図書をフルに活用して、課題に関する諸先生方の意見・学説を参考にしながら自分なりの考え方を述べる事が大切だと思います。

課題についての学説はどういったものがあり、自分はどの説をどういった理由で指

示したいのか。又、先生は授業中A説を指示されていたが自分はこういう理由を持ってB説を指示したい、といった事を述べればよいと思います。

なお、教科書・参考書はあくまで自分の意見を持つ為の参考にしておいて、まる写しはやめましょう。先生はその道の専門家であり、まる写しをしてもその本がどんな本なのかお見通しです。後は誤字・脱字を無くし、名前を忘れず記入して提出すれば完璧(?)です。

(大学院法学研究科私法学専攻  
博士課程前期二年・おおはらただし)

## 思いつきり卒論

広瀬 直美

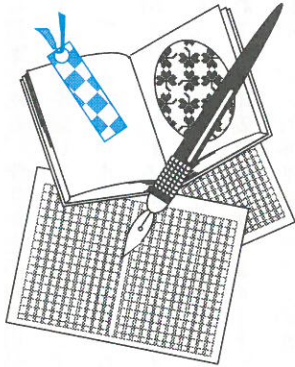
卒業論文のために費した去年の一年間は、本当に長くもあり短くもありました。三年次に仮配属の研究室を決定するとき「あの研究室は大変だ」という話は聞いていました。しかしそれでもあえてその研究室を選んだのは、研究室の先輩や先生に色々話を聞き、その中で「学生生活の最後の一年間

くらい思いきり勉強してもいいんじゃないか」という先生の言葉がひどく印象的だったからです。それまで大学の三年間で勉強はしたものの、その先生の授業以外でこれといった手ごたえを得られていなかった私は、その先生の言葉を聞いて一つやってみようという気になり、配属を決定しました。

四年次になって本配属が決定し、研究テーマを決める際には、本研究室で現在までどのようなことをやってきたか、この先どのようなことを目指しているのか等を聞き、それらをふまえた上で自分の興味ある分野を選び、詳細はその分野の院生の方と話しあって決定しました。幸いにも本研究室には多くの院生の方がおり、非常に大きな助けとなっていました。実際に研究を進めていく上で常に行われるのが先生や院生方とのディスカッションでした。先生はアメリカでの学生、社会人の生活を送っており、その経験から「発言しない者はいないのと同じだ」と私達にも言われましたが、日本人のよくない性格をひきついでいる私達には、最初とまどいが多いこともありました。しかしそのような活発な議論を行う

ことにより、一人で研究につまったときなどは、そこから新しい発見があったり、自分とは異なった分野の人からの目新しい視点からの意見があったりで、非常に有意義なものでした。

また知識を吸収する他の方法としては、論文を読むことがあげられますが、それらのほとんどが英語で書かれているものから、それを訳して、理解して、自分の知識とする、という過程を通して英語を読む力はこの一年間でかなりきたえられました。この一年は、先生の言葉通り「思い切り勉強のできた」一年で、大学生生活の締めくくりができ、非常に有意義な一年間でした。(大学院工学研究科電気工学専攻 博士課程前期一年・ひろせなおみ)



## 論文・レポートははじめの一步

松澤 実

「これを書きたい」から全てがはじまる

あたりまえのことですが、「何を書いてよいかかわからない」のでは何も書けません。書くべき何かを見つけるためにはどうしたらよいか。それには基本となるべき資料をまず丹念に読むことです。『徒然草』についての論文・レポートならば、それを熟読玩味することです。そうすればひとつぐらいいは興味を引かれるところ、疑問に思うことなどが出てくるはずですが(かなり希望的観測ではありますが)。それが書くべきテーマへとつながっていくのです。また、レポートの課題などで特に資料が指示されていないのならば、読みやすい資料を選択するのもよいでしょう。無理して難解なものを選ぶ必要はないと思います。

### テーマを具体化する

「これを書きたい」という気がしてきたら、テーマを具体化することです。四〇〇字詰原稿用紙で一〇枚程度のレポートや五〇〇〜一〇〇〇枚ぐらいの論文では大きなテーマを

取り上げるのは困難です。論点がしぼりきれずに、感想文や資料のあらすじといったものになってしまう恐れがあります。レポートぐらいのものならば、資料のひとつの章節、あるいは段落に焦点を当てて論じていくこともできるでしょう。

### 資料を集めすぎない

図書館には『雑誌記事索引』をはじめとして、資料を探すための道具がいろいろとあります。これらを活用することは論文・レポートを作成する上で大いに役に立ちます。しかし、参考になりそうな資料を数多く集めたところで、論文・レポートが自然に出来るかというと、論文・レポートが自然に出来るかというと、論文・レポートが比較的短い学術論文でも他人の書いたものに着実に理解していくことは、(特に読むことに慣れていない段階では) 案外骨の折れることです。資料を全く使わずに論文・レポートを作成することは不可能ですが、利用する資料については、数は少なくとも着実に選択していくことが大切です。このことはまた、自分のテーマが具体化されてこそ可能なのです。

(図書館参考係・まつざわみのる)



## ★ 書くためのお助けブックガイド ★

書名	著者名	出版社	出版年	所蔵館
<b>&lt;&lt;入門編&gt;&gt;</b>				
大学生のための研究の進め方まとめ方	田代 菊雄編	大学教育出版	1992	朝
原稿用紙に書く方法：学生・初心者のためのレポート・小論文・作文・論文の書き方	白佐 俊憲著	富士プリント出版社	1985	白・朝
文献探索法の基礎：レポート・論文作成・調査の必携マニュアル	毛利 和弘著	アジア書房	1991	朝・工
レポートの組み立て方	木下 是雄著	筑摩書房	1990	白・朝
論文執筆ルールブック	中村 健一著	日本エディタースクール出版部	1988	朝
<b>&lt;&lt;人文社会編&gt;&gt;</b>				
文学の学び方：付／論文・レポートの書き方	L.T.ディキンソン著	南雲堂	1982	白・朝・工
日本古典文学卒論・レポートを〈書く〉	有精堂編集部編	有精堂出版	1986	白・朝
近代小説研究必携：卒論・レポートを書くために	有精堂編集部編	有精堂出版	1988	白・朝
英語論文によく使う表現	崎村 耕二著	創元社	1991	白・朝
MA L新英語論文の手引	米国現代語学文学協会編	北星堂書店	1990	白
イギリス小説をどう読むか：レポートの書き方	J. ベック著	勁草書店	1986	白・朝
教育論文の書き方	福岡 八郎著	教育出版センター	1984	白・朝
社会心理学ワークショップ：卒業論文・卒業レポートの作成・提出に向けて	三井 宏隆著	垣内出版	1990	白・朝
法律論文の考え方・書き方	広中俊雄、五十嵐清編	有斐閣	1983	朝
日本史論文の書き方	中尾亮ほか編	吉川弘文館	1992	白・朝
<b>&lt;&lt;ワープロ・パソコンを使って書く&gt;&gt;</b>				
ワープロ作文技術（岩波新書）	木村 泉著	岩波書店	1993	白・朝
文章作成の技術：知的ワープロ・パソコン利用	樺島 忠男著	三省堂	1992	白
ワープロ・パソコンで「書く」技術	安田 幸弘著	日本実業出版社	1991	朝
ワープロ時代の文章コミュニケーション術	宮川 俊彦著	作品社	1988	朝
Macintoshによる科学論文の仕上げ方	渡辺 芳人著	講談社	1990	工
科学論文作成テクニック：Macintosh for university	祝部 大輔著	ビー・エヌ・エス	1992	工
<b>&lt;&lt;工学部編&gt;&gt;</b>				
手ぎわよい科学論文の仕上げかた：(付) 初心者べからず集 第2版	田中 潔著	共立出版	1994	工
科学英語を磨く：英語で論文を発表する方へのアドバイス	応用物理学会編	裳華房	1989	工
科学英語論文の基礎作法	マイケル・J・カツ著	朝倉書店	1989	朝・工
実験ノートの書き方・まとめ方	Howard M. Kanare著	廣川書店	1993	工
化学のレポートと論文の書き方 増補版	小川 雅弥監修	化学同人	1989	朝・工
建築卒論・レポートの書き方	山口廣ほか著	井上書院	1984	工

—— ワンポイント・アドバイス ——

- \* コピーをしたら出典を忘れずメモ!! 著者・書名・出版社・雑誌名・巻号 etc.
  - \* 日本語の文章作成法は、分類番号816、科学論文作成は407の付近に集中しております
  - \* 当図書館に所蔵がなくとも他館への道が開かれています→参考係へ
- 所蔵館 白…白山図書館 朝…朝霞分館 工…工学部分館

## ●就任にあたって

図書館長

今井 光太郎

私が東洋大学経済学部就任したのは、昭和三〇年であった。当時、東洋大学は六〇年にわたる単科大学の歴史を経て、あらたに総合大学として新制大学に移行する努力を重ねていた。すでに昭和二四年には文学部が、翌昭和二五年には経済学部が認可されていた。そして、昭和三一年には法学部が、昭和三四年には社会学部が、さらに、昭和三六年には工学部が、昭和四一年には経営学部が設置され、大学六学部、大学院五研究科、短大一、附属高校三を備えることになる。

これら学部学科の新增設に伴って、当然図書館の利用者も、蔵書も増加したが、図書館は昭和四年に建設された建築物（収容能力、一〇万冊）がそのまま利用され、機能麻痺の状態に陥ってしまった。このため昭和四〇

年頃から創立八〇周年記念事業の一環として現図書館の建設が検討され、ようやく昭和四六年に完成し、同年九月に開館した（収容能力、四二万冊）。しかし、この収容能力では、建設当初から、一〇年間の余裕しか見込めなかった。すなわち、昭和四六年当時、蔵書数は二五万冊であり、昭和五六年には四三万冊に達してしまった（現在、五九万冊）。

現在、周知のように、白山校地の再開発の一環として新図書館の建設が進行中であり、来年六月には開館の予定である（収容能力、八〇万冊）。すでに情報システム化は進行中であるが、この新図書館の完成によりその機能は飛躍的に上昇し、先進的諸大学図書館との遅れを大中にとりもどせるはずであり、図書館として利用者のニーズに対応できるように計画されている。しかし、それと同時に、図書館の蔵書構成は、その図書館なり大学の知的営みの軌跡であり、東洋大学図書館としての独自性を備える必要がある。その意味で、例えば、この一〇年にわたって取組んできた「個性形成」をさらに充実・発展させたいと考えている。（経済学部教授・いまいこうたろう）

## ●図書館にはなにがある？

朝霞分館長

大森 正

図書館は文字通り図書の宝庫である。朝霞分館の蔵書数は約一七万冊である。仮に一ヵ月一〇冊の本を読むとする。一年間で一二〇冊である。そうすると、朝霞分館の図書を全部読むには、一四一六年かかることになる。白山図書館には五九万冊ある。全部読むには何年かかるか、計算するのも恐ろしい。

とにかく、こんな大図書館を活用しない手はない。大学の教育は、授業と図書館とで成り立っていると考えたらいよいよ。大学に来たら、授業に出席するのがあたりまえのように、大学に来たら図書館に行くのがあたりまえなのである。何世代かかって読み切れないほどの量の図書を自由に引き出し読むことができる。これは大学生であることの一の特権でもある。

何かを読もうという目的を持って来るのもいいが、これといった目的もなくぶらっと入るのもいいものだ。本の背を見ている



# 館長・分館 メッセ

ただだって、こんな本があるのかと思わず手が伸びる。ぱらぱらと斜め読みして、これもおもしろそうだよ次の手を出す。気がつくよと一時間くらい経って

いる。随分視野が広がった気持ちになる。これだって、立派な図書館の利用法である。

情報化社会ということが言われて久しいが、これからの時代を賢く生きていくためには、情報検索と情報収集の能力が不可欠である。キーボードを叩いて必要な情報を引き出すことは、新聞を読む、テレビのニュースを見るときと同じくらいに日常的事務になる。図書館に気楽に入ってくることに大きな意義は、情報検索・収集の能力が自然に身につくことである。OPACの端末にさわったことのないままで東洋大学を卒業したら、人生の大きな損失である。 　　つつい固い話になってしまったが、固いばかりが図書館ではない。図書館は憩いの場所でもある。AV室では、音楽も聴けるし映画も見られる。ブラウジング・コーナーには、ベルばら、くいしんぼうのプー、AUTO SPORT、だってある。自由文庫はリサイクル・コーナーだ。図書館に

はなんでもあるとまでは言わないが、一日いてもあきないところではある。

(文学部教授・おおもりただし)

## ●ゲーテンベルグの呪縛からの解放

工学部分館長

青柳 宣生

私達は「情報」とか「ソフトウェア」という言葉を口にすることが多い。これには、用語の濫用の上に、専門用語としての意味が重なっている。「情報」という言葉は、古くは諜報・スパイ工作などにかかわる言葉として使われて来た。現在では学術情報・住宅情報・経済情報など案内・資料・情勢などの代わりに使われ、知識と同じように考えられていることが多い。

JISの情報処理用語では情報とは、データを表現するために用いた約束に基づいて、人間がデータに割り当てた意味とあり、データとは人間又は自動的手段によって行なわれる通信・解析・処理に適するように形式化された事実・概念又は指令の表現とある。またソフトウェアとはデータ処理システムの動作に関するプログラム・手順及び関連

する書類とある。漠然とではあるが、人間の考え方や考えたものを情報(ソフトウェア)として組み込んだものがデータ処理システム(コンピュータ)と関係があるらしい。このように理解すると、その機能は図書と同じで、紙と電子化した情報という媒体(メディア)の違いに過ぎないと考えてもよいだろう。

以上のように考えると、コンピュータの利用は政治・経済・社会生活だけでなく、人間の思考過程にも大きな影響を与える可能性があり、情報化はあらゆる分野において避けて通れない。情報を自由に発着信する能力と機能は人類にとって不可欠な要素であり、国際交流する上からも、情報化の推進によるコミュニケーションの向上は必要不可欠の要素である。

図書館も従来の紙に書かれたテキスト(文字)情報だけでなく音声・画像情報も加えた、いわゆるマルチメディア化を図る必要がある。現在私達の図書館も、そうすべく努力している。将来への夢としては、視聴覚だけでなく、触覚・嗅覚・味覚にも訴えることができる「スーパーマルチメディア」化が図れば、より豊かな表現手段が得られよう。

(工学部教授・あおやぎのぶお)

外国の図書館シリーズ  
—その9—

オクスフォード大学

山下 りえ子

一二世紀末に遡る伝統と学寮制度。このオクスフォード大学の特徴は、

「大学図書館」の構成にも反映される。大学の地理上の中心に位置し、その精神的中心とされる「ボードリアン図書館」はユニバシティ所属の中央図書館である。学者・外交官トーマス・ボードリー卿による一五九八年の復興に因んで呼ばれる本館は、一六一〇年以降英国公刊著作物の保管所ともなり、四百万冊を超える蔵書と、貴重な写本、文書類の所蔵で世界に知られる(写真・入口扉前の銅像は、一六一七—一三〇年に総長を務めたベンブロック伯爵)。専門毎の図書館が附置され、法学関係はセントクロスにある近代的建物に収められている。

また、各カレッジは、蔵書の規模や傾向に差こそあれ、独自の書庫と閲覧室、談話室を備えた、図書館でもある。基礎的文献が揃ったため、夜通し内部の利用者が絶えない。

ボードリアン図書館の利用には、推薦状

資格審査に加えて規則遵守の宣誓を要する。宣誓文は書籍の汚破損や持出しの禁止について各国語で用意され、担当員に相対して、母国語で厳粛に誓う。



附属法学図書館は、開架式、館内利用を原則として機能的に運営される。閲覧者は、書名と着席番号等を記入した短冊と交換で直接本を手に取り、使用中の本はその座席宛に請求できる。夜十時の閉館近く、机上に残された本が回収されていく。検索は、蔵書につき一部オンライン化され、また内外のデータベースにアクセスできる。専門職としてのライブラリアンの仕事ぶりは印象的である。

本の周りに人が集まり、意見が交換される場所。オクスフォード大学を訪れるならば、まず初めにそして誇らかに、これらの図書館に案内されるだろう。

(法学部講師・やましたりえこ)

図書館アラカルト

夏休み貸出しについて

▽白山  
受付開始日 7月11日(月)

貸出冊数 図書5冊 雑誌は館内利用のみ

返却期限 9月26日(月)

▽朝霞

受付期間 7月22日(金)～9月7日(水)

貸出冊数 視聴覚資料 7月13日～29日  
図書5冊 視聴覚資料2点

返却期限 9月22日(木)

▽工学部  
受付期間 7月25日(月)～8月31日(水)

貸出冊数 図書10冊 雑誌・視聴覚資料は除く

返却期限 9月19日(月)

※詳細は各館の夏休み利用のしおりをご覧ください。

訂正 第(四)号「貴重書を訪ねて」に誤植がありましたので、お詫びして訂正いたします。

P.6 最下段2行目を↓偽

P.7 最上段初めの2行を削除。

ΚΟΣΜΟΣ (No.106)

1994年7月5日発行

発行人：今井光太郎

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7314

© 東洋大学図書館 1994